

消防ポンプ自動車仕様書

(C D－I 型 古川橋分隊)

門 真 市

CD－I 型消防ポンプ自動車仕様書

[1] 概要

- 1 本仕様書は、門真市（以下「本市」という。）が令和 7 年度に発注し令和 8 年度に購入する CD－I 型消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。
- 2 車両の製作は、本仕様書及び製作承認図等によるほか、関係法令に従うこと。
- 3 車両は、この仕様書に定めるほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準等の関係法令に適合し、かつ緊急自動車としての承認が得られるものであること。また、消防用車両の安全基準検討会が定める「消防用車両の安全基準について」に適合すること。
- 4 艀装業者は ISO 9 0 0 1 認証取得による品質管理システムにて製造が行われていること。また、ISO 1 4 0 0 1 認証取得による環境システムに適合していること。
- 5 受注者は、契約にあたり本仕様書を了解し、不明な点については、本市担当員に質問し、十分に熟知したうえで契約すること。
- 6 受注者は、契約後仕様書詳細について本市担当員と打ち合わせを行い、製作承認図等を本市に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- 7 受注者は、契約後製作にあたり本仕様書に疑問が生じた場合は、本市担当員と打ち合わせのうえ、変更承認図を提出し承認を得ること。
- 8 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 9 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 10 本仕様書に記載がない部分等については、本市担当員と協議の上、決定

する。

11 納入数量及び納期は次のとおりとする。

- (1) 納入数量 1 台 (古川橋分隊)
- (2) 納 期 令和 8 年 9 月 4 日 (金) まで
- (3) 納入場所 発注者が指定する場所

12 受注者は、仕様書・承認図等により本市担当員立会いの上、検査を行う。

- (1) 検査は中間検査、完成検査及び納車検査とする。
- (2) 検査は製作行程表に基づき検査を受けられる状態で日程を組むこと。
- (3) 完成検査は納入期間までに補修、調整ができるよう余裕を持つこと。

13 その他

- (1) 保証期間は納入後 1 年とする。但し、メーカーの保証期間がそれ以上の場合はその期間とする。

なお、構造上(部品・材料の不良も含む。)あるいは、技術上の不備欠陥による場合は、保証期間を経過しても受注者において速やかに処理するものとする。

- (2) 車両の登録等に関する一切の経費については受注者負担とする。
但し、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料は本市が負担する。

[2] 提出書類

1 受注者は契約後、次の書類を提出すること。

- (1) 製作工程表 2 部
- (2) 製作承認図 (艤装三面図・諸元明細書を含む) 2 部
- (3) 電気配線図 2 部

2 受注者は納入時に次の書類を提出すること。

- (1) シャシ図面 2 部
- (2) 電気配線図 2 部
- (3) 写真 (CD-R 等により提出すること) 一式
 - ア 艤装完成車 前・後・左・右・上
 - イ 製作工程に基づくシャシから完成車までの状況を撮影したもの
- (4) ポンプ性能試験成績表 2 部
- (5) ポンプ受託試験合格プレートの写し 2 部
- (6) 各取扱説明書 2 部

(7) 完成図書 (A 3 サイズ)	2 部
(8) 検査登録後の車両の写真 (前後左右)	2 部
(9) リサイクル券	1 部
(10) 自動車検査証の写し	2 部
(11) その他本市が指示するもの	

[3] 補則

- (1) 自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税、リサイクル料を除く全ての経費は受注者の負担とする。
- (2) 受注者は、納入後各部の取扱要領及び資機材等に係る取扱説明や必要な講習については専門係員（サービス担当者）を派遣し、本市において指定する時期に実施すること。なお、係員の派遣に関する費用等は受注者が負担する。

[4] 使用シャシ

消防専用シャシ(国家検定合格品)は、令和8年度の最新車両(N o x ・ P M 法・騒音規制等の規制値に適合した車両)のダブルキャブオーバー型(最新型)で、C D - I 型消防ポンプ自動車に使用するシャシとしてメーカーが公表した標準取付品が装備されていること。

<シャシ諸元>

- (1) C D - I 型消防専用シャシ 1 台
- (2) 乗車定員 8 名(前部 3 名、後部 3 名、後部ボデー内左右各 1 名)
- (3) トランスミッション: オートマチックトランスミッション同等品以上
- (4) 駆動方式 2 W D

<装備品及び取付品>

- (1) 純正エアコン
- (2) パワーステアリング
- (3) 助手席電動格納ミラー
- (4) オイルパンヒーター (10mコード付)
- (5) 集中ドアロック (各ドア)
- (6) 電動キャブチルト装置
- (7) サンバイザー
- (8) サイドバイザー
- (9) フロアマット (全席)
- (10) スペアタイヤ (ラジアルタイヤ)
- (11) 天井照明灯 (LED 式)

- (12) スペアキー
- (13) ドライブレコーダー
- (14) 後退警報器
- (15) A B S 装置及びエアバック（運転席及び助手席）
- (16) C D プレーヤー（S D カード・A M ・F M ラジオ対応品）
- (17) パワーウインドウ
- (18) 停止表示板
- (19) L E D ヘッドランプ

17 乗車人員の乗降時及び走行時の安全に必要な手摺等を設け、各座席にはシートベルトが設けてあること。

18 艀装後の車両全長 5,600 mm 以内及び全幅 1,900 mm 以内とし、消防車庫の構造上、極力短くするように努めること。なお、全高は 2,480 mm 以内とし、車両総重量は 5,000 kg 以内とする。また、当市車庫内に納まること。

[5] 主ポンプ

高圧 2 段バランスタービンポンプとし、軸受部はグリスレスのメカニカルシートとし、不凍液や作動油等の使用及び継ぎ足しも必要ない構造とすること。なお、軸先端部もグリスレスのこと。

運転中の振動による破損または取付部に緩みが生じないように、堅牢かつ確実に取り付けられ、振動、騒音、漏水、油漏れ等の異常が生じない構造とする。また、動力伝達機構はフルパワー P. T. O により駆動され、その操作は運転席において容易に行えること。

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | 型 | 式 | 高圧 2 段バランスタービンポンプ |
| 2 | 性 | 能 | 動力消防ポンプ規格 A - 2 級適合品 |
| | | | 0.85 MPa において 2.0 m ³ /min 以上 |
| | | | 1.40 MPa において 1.4 m ³ /min 以上 |

[6] 真空ポンプ

4 枚羽根以上の偏心翼型無給油式とし、排気量は 1,000 c c 以上とする。真空ポンプ内に水が入っても破損しない構造とする。

動力伝達機構は電磁クラッチにより動力を伝達するものとし、操作はポンプ室両側に設けられた液晶モニター式操作盤の押しボタンスイッチにより行うものとする。

- 1 性能：30 秒間以内に大気圧の 84%以上の真空を作成できること。

[7] 液晶モニター式操作盤

7 インチ以上の LED バックライト式液晶画面で、操作スイッチ等は画面と一体式に取り付けられている押しボタンスイッチにより運転・画面切替等の操作が容易にできるものとする。また、車体左右に非常用の真空ポンプ運転スイッチを別系統で設けること。

操作盤は車体左右にそれぞれ設け、次の機能を有すること。

1 自動揚水装置

真空ポンプは運転スイッチを押すと、エンジン回転数が自動的に上昇して真空ポンプが作動し、揚水完了時、主ポンプ圧力が約 0.3 MPa 以下でエンジン回転数がアイドリング回転まで自動的に下降し、真空ポンプが停止すること。

2 警報装置

真空ポンプ作動後 30 秒以上経過しても揚水完了しない場合、表示及びブザーによる警報がでること。

3 液晶表示

液晶モニターには吸水口、中継吸口、放水口の開閉表示、真空ポンプ作動、揚水完了表示、エンジン冷却水の通水表示等、放水運転操作に必要な各種表示及びポンプ操作等の取扱説明を表示させること。

[8] エンジンスロットル

エンジンスロットルは電子式とし、車体左右にそれぞれ設ける。操作は時計回りの操作でエンジン回転数が上昇するものとし、微調整が可能であること。また、液晶モニター、計器類を見ながら容易に操作ができる位置に取り付けられるものとする。

その他、故障等に備えて非常用操作装置を設けること。

[9] 吸水口

呼称 75 ボールコック（ストレーナー付）を車体両側に各 1 個設け、軽量吸管を常時接続する構造とする（吸水口エルボ付）。また、左右の吸水口付近に連続呼水装置（エジェクター）を設けること。

[10] 中継吸口

呼称 65 ボールコックを車体両側に各 1 個設けること。

- [11] 放水口
呼称 6 5 ボールコックを車体両側に各 2 個設けること。
- [12] エンジン冷却水装置
エンジン冷却水装置を車体右側に設けること。また、エンジン冷却水装置は 2 系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易にできるストレーナー及び通水が目視できるグラスボールを設けること。
- [13] 計器類
バックライト付防針型の圧力計及び連成計を車体左右にそれぞれ 1 個設けること。
- [14] 排水装置
主ポンプ及び全ての配管には、排水が有効にできる様にドレンバルブを必要数設けること。また、主ポンプドレンバルブは主ポンプ駆動スイッチと連動して自動的に開閉するものとする。
- [15] キャブの構造
- 1 運転席・隊員席はシャシ固有の鋼板製ダブルキャブとする。
 - 2 キャブ内は天井等の必要箇所にはビニールレザー張りとする。
 - 3 乗降用の手摺をキャブの両側に設ける。
 - 4 キャブ内後部座席前方に手摺（保護クッション巻き）を設ける。
 - 5 キャブ内中央に内蔵型照明器具を設ける。
 - 6 キャブ内の中央手摺部に地図収納箱を設ける（寸法は別途指示）。
 - 7 団マークをボデー前面中央に取り付ける。なお、メーカーエンブレムは取りはずすこと。
 - 8 旗立てパイプをキャブ後部左右に取り付ける。
 - 9 キャブ内部後方に、ヘルメット用フック（5 個以上）を取り付ける。
 - 10 キャブ内後部座席天井に網目の収納庫を設ける。
- [16] 車体の構造
- 1 艀装は総合的な重量配分を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
 - 2 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口または点検扉を設ける。

- 3 ボデー両側板は、周囲を外側に折り曲げ加工し、各ステップはアルミ縞板にて端部周辺を折り曲げ加工した構造とする。
ポンプ室天井、リアフェンダー左右上部及びボデー内床はアルミ縞板張りとする。
- 4 各操作バルブ・ボールコックは、操作が容易な位置に取り付け、直近の見やすい位置に名称及び注意銘板等を設けること。
- 5 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取り付け、扉付注入口を注入容易な外部に取り付ける。
- 6 シャシ後部座席の乗降ステップをリアフェンダー側に延長すること。
- 7 バッテリーは引き出し式とし、点検が容易な構造とする。
- 8 ポンプ室天井にホース枠(展開式も可)を設け、ホース等が積載できる構造とする。
- 9 ポンプ室天井外周に落下防止用の手摺を設けるとともに、ポンプ室天井部等への乗降時の安全に必要な手摺、足掛けステップを設ける。また、後部ボデー上部に鳥居型の手摺を設ける。
- 10 剣先スコップ、金てこを車体の適当な位置に取り付ける。
- 11 替口立 3 個及びスタンドパイプ 1 本を本市担当員が指示する位置に設ける。
- 12 とび口 3 本をボデー左側上部の本市担当員が指示する位置に取り付ける。
- 13 後部ボデー内は次のとおりとする。
ボデー内に左右 1 名掛けの隊員席を設ける。
(1) 左右両座席 折畳式
(2) 座席後部に転落防止用の折畳式手摺を設ける。
- 14 車両用消火器を車体の適当な位置に取り付ける。
- 15 不凍液注入装置を設ける。また、各配管は冬季凍結防止に留意する。
- 16 水が溜まる恐れのある箇所には、排水口を設ける。
- 17 常時車両バッテリーに充電ができる全自動バッテリー管理器(コード付)を設ける。100V コンセントとの接続口は、マグネット式とし、本市担当員が指示する位置に取り付ける。
- 18 運転席付近にメインスイッチを設け、ネームプレートを取り付ける。
- 19 牽引フックを車両前後部に取り付ける。
- 20 管鎗 3 本を本市担当員が指示する位置に設ける。
- 21 ボデー右側上部に二つ折はしご(鉄製)を取り付ける。
- 22 ボデー両側に軽量吸管 75mm×10mm を各 1 本円型に巻き取り積載する。また、スィーベル式エルボをそれぞれに設ける。

- 23 全輪に泥除けゴムを設ける。
- 24 標識灯を 1 個設ける。
- 25 ポンプ室天井に収納ボックス 2 個を設置し、収納ボックス固定金具を設けるとともに、ナイロン製フォローを掛けること。
なお、設置場所については本市担当員が指示する位置に設ける。
 - ア 縦 40 cm 横 75 cm 高さ 45 cm
 - イ 縦 36 cm 横 110 cm 高さ 35 cm
- 26 後部ボデーに収納ボックス 1 個（蓋つき）を設置し、収納ボックス固定金具を設けること。なお、設置場所については本市担当員が指示する位置に設ける。 縦 40 cm 横 70 cm 高さ 50 cm
- 27 ボトルクリッパーを車体の適当な位置に設ける。なお、設置場所については本市担当員が指示する位置に設ける。
- 28 消火栓ボックス及び日出式バール（二段重）を後部ボデー内に設けること。なお、設置場所については本市担当員が指示する位置に設ける。
- 29 二又分岐管を車両右側後部付近に設けること。なお、設置場所については本市担当員が指示する位置に設ける。

[17] 警音・広報装置

- 1 拡声器付電子サイレン（電動サイレン及び警鐘の疑似音を発することができ、かつ、拡声装置としても使用できるものであること。）
ボデー上部等の適当な位置にスピーカー 1 個を取り付け、アンプはキャブ内前座席上部またはダッシュボード内に取り付ける。
- 2 後退警報装置
後退警報装置ブザーを取り付ける。
- 3 CD プレーヤー
広報用 CD プレーヤー（SD カード、AM、FM ラジオ対応）をキャブ内前座席上部、またはダッシュボードに取り付ける。
- 4 ドライブレコーダー
ドライブレコーダーは、映像並びに加速度、車速、時刻及び自動車位置のデータを記録する製品とし、録画した映像及びデータをパソコンで再生することができること。また、再生するにあたって専用ソフトが必要な場合は、専用ソフトを付属することとし、記録した映像を AVI 形式の動画や JPEG 形式の静止画に変換して保存できること。
ドライブレコーダーは、SD カード等の保存メモリーで常時録画する製品とし、保存容量は 32GB 対応品とする。また、保存に必要な 32GB の保存メモリーを付属すること。

ドライブレコーダーは、本市担当員が指示する所に取り付ける。ドライブレコーダーの電源は、イグニッション経由で配線すること。バッテリー直結は不可とする。

[18] 照明・灯火

- 1 散光式赤色警光灯(標識灯・スピーカー一体型も可)をキャブ天井に取り付ける。取り付けに際しては、防錆、防水、雑音防止に十分留意すること。
- 2 LED 式赤色点滅灯をボデー前面左右に各 1 個取り付ける。
- 3 LED 式赤色点滅灯をボデー後部左右に各 1 個取り付ける。
- 4 LED 式照明灯を伸縮装置付にてボデー後部鳥居左右に取り付ける。また、照明灯付近にスイッチをそれぞれ設ける。
- 5 LED 式計器灯をポンプ室側板及びポンプ室内に取り付け、スイッチはキャブ内に取り付ける。

[19] 塗装及び記入文字

- 1 ボデーは充分錆落としのうえ、プライマー、パテ、サフェーサーにより下地処理を行い、充分乾燥させ赤色アクリルウレタン塗料により 3 回以上の吹きつけ塗装を行う。その後、800～2000 番程度の細目ペーパーにより塗装面を滑らかにし、鏡面仕上剤による艶出し加工を施すこと。
- 2 アルミ縞板使用部は無塗装とする。
- 3 ボデー下回りは黒色塗装とする。
- 4 標識灯には黒色丸ゴシック体で「古川橋分隊」と前後に記入する。
- 5 キャブ両側後部ドアに白色丸ゴシック体で「門真市章と門真市消防団第一方面隊」のカッテンキグシート（白色 反射シール）を張り付けること。

[20] 取付品

品 名	規 格	数 量	備 考
ポンプ圧力計		2 個	
ポンプ連成計		2 個	
エンジン回転計	シャシ固有のもの	1 個	
エンジン油温計		1 個	
散光式警光灯	LED	1 個	
前部赤色点滅灯	LED	2 個	
後部赤色点滅灯	LED	2 個	
電子サイレン	本体（サイレン、警鐘、拡声装置付） スピーカー 1 個	1 式	
電動サイレン		1 式	
広報用CDプレーヤー	SDカード、AM、FMラジオ対応	1 個	
LED照明灯	6 0 W以上、伸縮ポール付	2 個	
後退警報ブザー		1 式	
標識灯		1 個	
不凍液注入装置		1 式	
オイルパンヒーター	シャシ固有のもの	1 式	
計器灯		2 個	
団マーク		1 式	
旗立てパイプ		2 個	
マップランプ	助手席	1 個	
路肩灯	LED	2 個	
後端灯	LED	2 個	
バッテリー管理器	マグネットコンセント、コード付	1 式	
ドライブレコーダー		1 式	
作業灯（L E D）	左右側板上部 各2個 後部隊員席 1 個	5 個	

[20] 付属品

品 名	規 格	数量	備 考
軽量吸管	7 5 mm×1 0 m 反射ライン入り,エルボ付	2 本	
吸口ストレーナ	7 5 mm用	2 個	
吸管ストレーナ	7 5 mm用 プラスチック	2 個	
吸管ちりよけ籠	7 5 mm用 プラスチック	2 個	
吸管枕木	7 5 mm用 ゴム製・バンド付	2 個	
吸管ロープ	1 0 mm×1 5 m	2 本	
消火栓金具	7 5 メスネジ×6 5 差込メス AC製	1 個	
中継用媒介金具	6 5 メスネジ×6 5 差込メス AC製	2 個	
消火栓開閉金具	1. 2 m	1 丁	
分岐管	6 5 mm×6 5 mm 2 レバー方式	1 個	
吸管スパナ	左右各 1 丁	2 丁	
管鎗	6 5 mm ヨネ・安全管鎗	2 本	
ノズル	φ 2 0・2 3・2 6 mm各 1 個 AC製	3 個	
可変噴霧ノズル	プロコンペまたは同等品、定流量	2 個	
放口媒介金具	6 5 mmメスネジ×6 5 mm差込オス	4 個	
とび口	1. 5 m以上	2 本	
金てこ	8 5 0 mm	1 個	
剣先スコップ		1 丁	
はしご	3. 6 m二つ折 鉄製	1 脚	
車輪止め	ゴム製 取手付	2 個	
消火器	粉末ABC 6 kg入り	1 本	車載用
ポンプ工具	グラント・スパナ・冷却水スパナ等	1 式	
スタンドパイプ	φ 6 5×1. 1 m AC製 反射テープ付き	1 本	単口引上式
防火水槽開閉金具	日ノ出 3 6 型	2 個	
ホースブリッジ	L (新素材軽量型)	1 式	
牽引ワイヤー		1 本	
タイチェーン	シングル	1 組	
防水カバー	車体上部ホース棚用 (全体を覆えるもの)	1 式	
携帯ライト	LED式	1 個	
トランシーバー	特定小電力トランシーバー (免許・登録が不要であること)	8 個	
ホースバック	6 5 mm×2 0 m消防ホースを 2 本以上収納可能であること	4 袋	
ポンプ室天井収納ボックス		2 個	
後部荷台収納ボックス		1 個	
コードリール	防水・漏電防止仕様 3 0 m	1 個	
発電機	ホンダ製 EU9iまたは同等品以上	1 台	
照明灯	LED式 5 0 W×2 三脚付または同等品以上	1 式	

ボトルクリッパー		1 個	
----------	--	-----	--